

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第10号
令和4年6月16日

「前期中間考査に向けて その3」

明日から前期中間考査が始まります。みなさんにとっては、高校生活最初の定期考査になりますね。今回の試験に臨むにあたって、各自学習活動に力を入れていることと思います。

本校の定期考査は前期、後期それぞれ中間、期末の試験があり、年4回の実施となります。また、中学校の定期考査は5教科の実施が基本だったのに対し、本校1年次では10科目を4日間かけて行います。

今回、自分の実力を効果的に発揮していくにあたり、次の3つを伝えます。

1 試験が始まる直前まで、粘り強く学習に取り組むこと。

これまで計画的に学習に取り組んできたことと思いますが、大切なのは「最後の詰め」です。試験が始まる直前まで、粘り強く学習に取り組むことが肝要です。物事が始まる場合、その実施が近づけば近づくほど人間の集中力というものが高まっていくものです。

試験直前に確認したことが出題されたというケースはよくあります。わずかな時間も惜しんで勉強しましょう。

2 受検が終了した後は、必要な場合を除き、早めに自宅に帰宅すること。

試験期間中は午前で終了しますが、用がない限りは早めに自宅するようにしてください。中学校の定期考査は基本1日の実施であったと思いますが、本校が4日間の期間を設けているのは各教科の学習に十分な時間を充てていくためです。この趣旨を十分に理解し、本校生として望ましい行動をとるよう心がけてください。

3 受検が終了した科目は一旦忘れ、次の科目の学習、受検に集中すること。

今回、10科目の考査をみなさんは受検します。ひょっとして受検後に「あの問題はこのような解答すべきであった、この項目も学習しておくべきだった」と後悔の気持ちが出ることもあるかと思われます。

「覆水盆にかえらず」という諺のとおり、すでに終わったことを嘆いても決して解決にはつながりません。終わったことに対しては決して気持ちの中で引きずることなく、次の科目の学習、受検に集中する姿勢を大切にしてください。

もちろん、返却された答案の見直しをとおして、自分の取り組みを反省していくことは大切です。この点については、次回の年次通信でふれていきます。

それでは4日間、ベストを尽くしてください。

年次主任